

設置はお済みですか？ **作動点検**は？

「住宅用火災警報器」

10年経ったら交換しましょう

家を守る
第一歩!



まよおは
備えたい!

住宅火災による逃げ遅れを防ぐために、今お住まいの住宅の寝室や階段に「住宅用火災警報器」の設置が消防法により義務付けられています。

自動火災報知設備の設置義務がない共同住宅等にも設置が必要です。

大切な家族や財産を守るために、必ず設置しましょう！



火災警報器の
設置場所



火災警報器の
種類



煙式 寝室・階段用

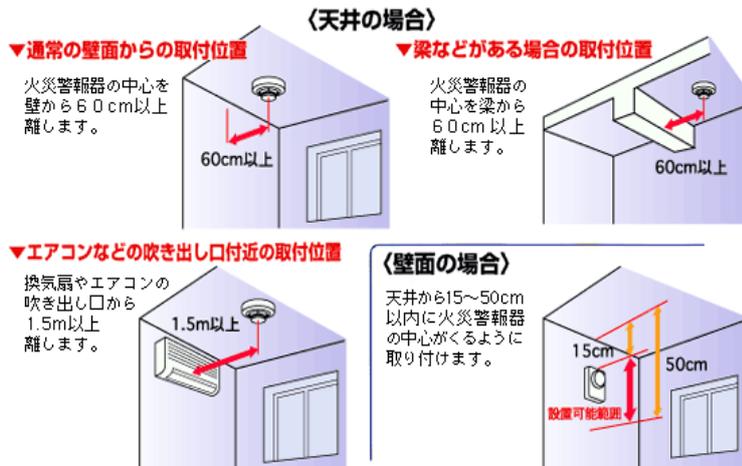


熱式 台所用

八代広域行政事務組合消防本部

『住宅用火災警報器』は煙や熱を感知して、警報音や音声で火災発生をお知らせします！

●設置方法は？



●購入するとき注意することは？

煙の感度やブザーが国が定めた基準に適合しているものをご購入してください。
「合格表示」の検マークがついている製品は、総務省令で定める技術上の規格に適合しているものです。



巧妙な手口を使った不適切な訪問販売などのトラブルが発生しています。
契約を急がせる業者は要注意です。その場ですぐ契約せず、**おかしいと思ったら、はっきり断ってください。**
※消防署や行政が、直接訪問販売することはありません。
また、特定業者の商品を斡旋したり、業者に販売を依頼することはありません。



●購入するとき注意することは？

住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。
「いざ」というときに住宅用火災警報器がきちんと働くよう、日頃から点検とお手入れをしておきましょう。

☆定期的な作動点検をしましょう

住宅用火災警報器本体から下がっている引きひもを引く、あるいはボタンを押すなどにより、定期的に作動点検をしましょう。

音が出ないものは、故障か電池切れの恐れがありますので、新しいものと交換しましょう。

※10年たったらとりカエル。



☆定期的にお手入れをしましょう

住宅用火災警報器にホコリなどが付くと、火災を感知しにくくなります。

定期的な乾いた布でふき取りましょう。



●付けて良かった事例

<事例1>コンロの火から火災発生！

ガスコンロに火をつけたまま居住者が外出、隣人が異臭と住宅用火災警報器の警報音に気づき119番に通報し、大事に至りませんでした。



<事例2>コンロの火が衣服に！

ガスコンロで湯沸かし中、コンロの火が衣服に着火したが、就寝中の同居者が連動式住宅用火災警報器の警報音に気づき、隣人に助けを求め大事に至りませんでした。

※住宅用火災警報器についてのご質問・お問い合わせは、お近くの消防署または、消防本部予防課（32-9227）へ